



阿南市教育委員会

阿南市立学校グラウンド 照明設備 L E D 化計画

令和6年2月

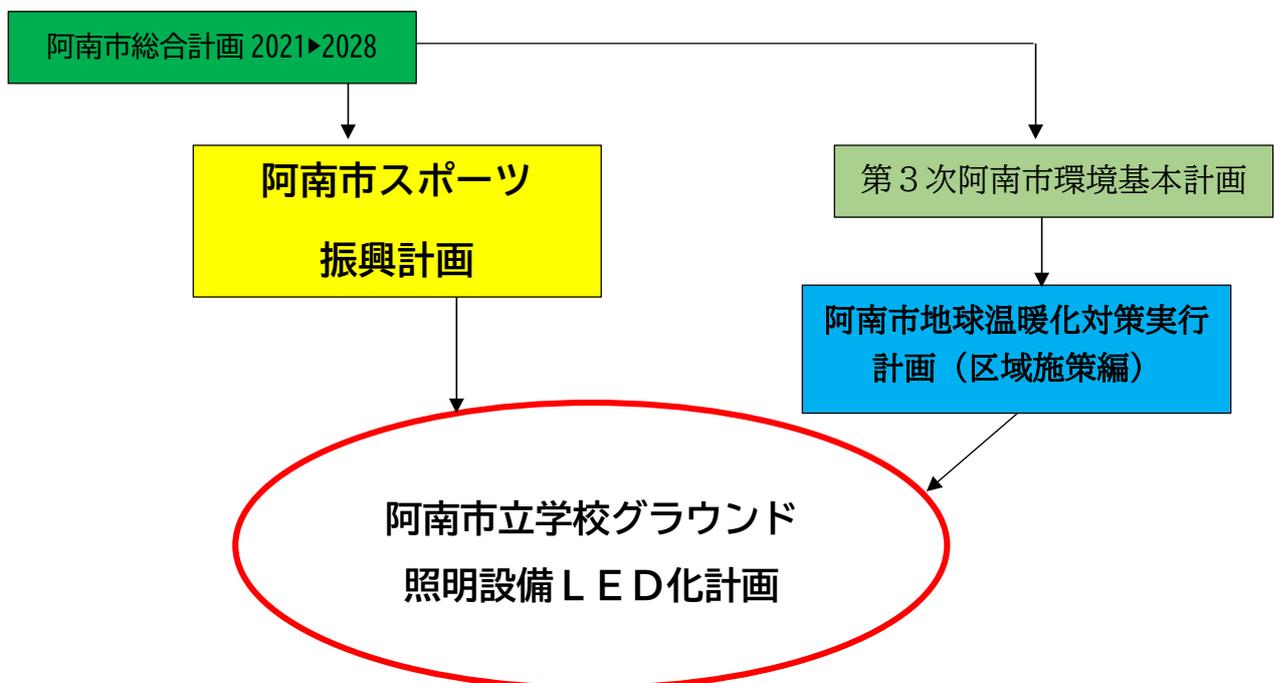
1 目的

「阿南市立学校グラウンド照明設備LED化計画」は、「阿南市立学校の施設の開放に関する規則（昭和51年阿南市教育委員会規則第2号）」第4条第1号に基づくスポーツ開放において使用するグラウンド照明設備について、利用者が安全で安心、かつ快適に利用できる環境づくりを推進するために策定するものである。

また、「阿南市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の「基本方針に基づく施策」において「LED照明の積極的な導入」が掲げられていることから、本実行計画に基づき、学校グラウンド照明設備についてもLED化を図るものである。

2 計画の位置づけ

本計画は、本市のスポーツ分野の取組指針となる「阿南市スポーツ振興計画」の「基本目標3 スポーツを通じた「交流」まちづくりの推進」に掲げる「施策3 スポーツ環境の整備」に沿って計画の策定及び実行する。



3 計画の方向性

(1) 現状

照明設備及び照明設備専用のコンクリート柱は、設置から年数が経過していることから、老朽化が進んでいる。照明設備においては、「球切れ」、「安定器の故障」、「漏電」が、コンクリート柱においては、「ひび割れ」が生じており、利用者の安全・安心と快適な利用環境の確保が困難になってきている。とりわけ、照明設備の「球切れ」におい

ては、水銀球が製造中止となっており、照明球の交換による修繕が困難であることから、照明設備のLED化が急務となっている。

阿南市立学校においては、グラウンド照明設備が数多く敷設されているが、設置に至る経緯の違い等から、各学校間の機能に大きな差が認められる。また、その修繕には、足場や高所作業車等の特別な設備を要することや、LED灯具が高額であることから膨大な費用を要する。加えて、本市の社会体育施設も平行して管理する必要がある。

なお、令和6年1月1日時点で、本市が所管する学校グラウンド照明設備は、次のとおりである。

	学校名	電球 総数	内LED 球数	コンクリート柱 製造年 (最も古いもの)	利用 状況
1	富岡小学校	34	0	1983年	○
2	横見小学校	8	0	1999年	○
3	中野島小学校	13	0	1983年	○
4	宝田小学校	22	0	1979年	○
5	長生小学校	24	0	1977年	○
6	大野小学校	20	20	2000年	○
7	見能林小学校	17	0	1993年	○
8	橘小学校	30	0	2016年	×
9	福井小学校	7	0	1984年	×
10	新野東小学校	17	0	1979年	○
11	平島小学校	48	9	1979年	○
12	今津小学校	48	8	1979年	○
13	羽ノ浦小学校	41	0	1960年	○
14	岩脇小学校	30	4	1978年	○
15	阿南第一中学校	8	0	2013年	△
16	加茂谷中学校	36	0	1989年	○
17	阿南第二中学校	28	0	1978年	○
18	那賀川中学校	64	0	1991年	○
合計		495	41		

※利用状況における「△」は、部活動のみの利用

(2) 方針

上記の現状を踏まえ、コンクリート柱においては「安全確保」を、照明設備においては、各学校間における「機能格差解消」を目的として計画的に設備改修を行う。

本事業でLED化を推進することにより、消費電力の削減及び削減及び本市がめざす「ゼロカーボンシティ」の実現に寄与する。

LED化を行うに当たり、以下の「基本理念」及び「基本方針」に基づき実施する。

—基本理念—

施設機能の標準化を目的とした 阿南市立学校グラウンド照明設備のLED化

—基本方針—

LED化実施 施設の選定

- 学校グラウンド照明設備の使用頻度や阿南市立小・中学校再編計画を勘案し、必要性を決定することとし、不必要と判断した照明設備については、LED化を実施しないものとする。

実施の 優先度

- コンクリート柱の設置経過年数と現在の利用状況等及び防球ネットの更新状況を総合的に勘案し、決定する。

工事の 施工方法

- 学校単位で実施し、LED照明は防球ネットのコンクリート柱に設置する。
- 防球ネットが無い箇所は、コンクリート柱の再利用又は新たなコンクリート柱を建てることにより実施する。ただし、再利用するコンクリート柱は、「コンクリート柱の寿命（53年）－設置経過年数 \geq 20年」のもの、かつ高さ等の基準を満たしているものとする。

照度

- 学校グラウンド照明設備を利用する競技のうち、最も照度を要する「軟式野球競技」を基準とする。
- 野球競技における内野部分を200lx程度、外野部分を150lx程度の照度を確保する。

修繕

- LED化工事実施時に、再利用可能な水銀球及び安定器の調査及び確保を行い、LED化待機設備等への修繕に活用する。

照明設備のLED化は予算の範囲内において実施することとし、照明設備の利用に支障が生じないように、再利用可能な水銀球や安定器の活用により、事業完了までの間、施設機能を維持していく。

また、今後の維持管理の簡素化に向け、支柱（コンクリート柱）の削減を図るため、防球ネットの更新と併せて工事を実施する方針とする。

なお、すでに防球ネットの工事が完了している学校については、LED照明設置に伴う実地調査を行い、支柱の高さ等の基準を満たしている場合は、当該支柱にLED照明を設置することとし、基準を満たしていない場合は、支柱の取替を行った後、LED照明を設置する。

(3) 計画期間

本計画の実施期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間とする。

なお、社会情勢の変化や計画の進捗状況等に応じ、適宜、実施期間や実施施設の見直しを行うものとする。

4 基本理念及び基本方針に基づく施策

(1) LED化実施予定施設の選定及び整備方法

LED化を進める学校は、「3 計画の方向性 (1)現状」に記載の学校グラウンド照明設備において、支柱の設置経過年数、利用状況（学校体育利用のみ又は社会体育及び学校体育に利用）等及び本市が実施する阿南市立小・中学校再編の状況に鑑み、年度ごとに教育委員会が選定する。

工事の施工方法については、令和5年度に実施した大野小学校における照明設備のLED化工事を基準とし、施設の形態や状況等を踏まえながら順次実施するものとする。

ただし、防球ネットの工事及び照明設備工事に係る予算額に応じて実施することから、実施計画の内容については適宜変更を行い、場合によっては延期又は短縮する。

なお、次項記載のLED化不実施予定施設は対象外とする。

(2) LED化不実施予定施設

下記施設については、LED化を実施しないものとし、学校グラウンド照明設備の撤去を含めて検討する。

ただし、利用状況等に大幅な変化があったときは、再度検討し、場合によってはLED化を実施するものとする。

施設名	理由
大野小学校	LED化実施済みのため
橘小学校	グラウンド照明設備の利用がないため
福井小学校	グラウンド照明設備の利用がないため

5 計画の推進と見直し

(1) 計画の推進

本計画の実施に当たっては、学校施設の管理を行う教育総務課と照明設備の管理を行うスポーツ振興課が連携し、計画を推進する。

また、計画の進捗状況においても、情報共有を図り、効果的に事業を実施する。

(2) 計画の見直し

計画年度の途中においても、スポーツ振興課と教育総務課において協議を行い、必要に応じて計画を見直すものとする。

担当

阿南市教育委員会教育部スポーツ振興課

電話 0884-22-3394 FAX 0884-22-4785